



長崎市議会議長

井上重久

の皆さまにおかれましては、これまでに経験したことがないような不安な日常生活を過ごされたことと存じます。

市議会におきましては、感染防止対策を行いながら定例会や臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策の関連予算などの議案審査を行いました。今後も議論を重ね、議会のチェック機能を最大限に発揮し、より一層市民の皆さまの負託に応えられるよう努力してまいります。

さて、本年は、長崎駅西口に MICE 施設「出島メッセ長崎」が開業します。感染症に対応した新しい形式の会議をはじめ、さまざまな環境の変化や主催者・利用者のニーズに柔軟に対応し、多くの皆さまから選ばれる施設となることを期待しております。

また、野母崎地区では、「長崎のもぞき恐竜パーク」が供用開始となります。恐竜の化石発掘の拠点となる恐竜博物館やこども広場などが整備されますので楽しみにお待ちください。

私たち市議会は、これからも魅力溢れる長崎市の実現に向けて、行政とともに全力を尽くしてまいります。

今後とも、多くの皆さまに市議会の動きをお届けするため、議会中継や市議会だより、市議会ホームページ、ケーブルテレビ、フェイスブックなどさまざまな媒体を活用し、迅速でわかりやすい情報発信に努めてまいります。

本年が、皆さまにとりまして、素晴らしい年でありますよう心からお祈りいたします。

魅力溢れる長崎市の実現に向けて

あけましておめでとうございます。

幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在も猛威を振り続けている新型コロナウイルス感染症により、昨年、市民

今年が長崎開港450周年

新年おめでとうございます。

健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、1571年の長崎開港から450年という記念の年です。長崎港は、貿易や造船、炭鉱、水産業などさまざまな面からまちの発展を支えてきました。今も長崎水辺の森公園をはじめとする憩いの場、クルーズ船を受け入れる港として活力を与えてくれています。開港500周年に向けていいスタートをきるためにも、港の節目を、感謝を込めて祝いたいと思います。

また、「核兵器のない世界」に向けても前進の年になります。核兵器の開発や保有などのあらゆる活動を全面的に禁止する「核兵器禁止条約」が1月22日に発効します。これからも、平和を求めるすべての皆さんと連帯して、長崎の思いを世界に届けていきましょう。

長崎のまちでは、今、100年に一度のまちづくりが進んでいます。春には長崎駅西口が完成し、10月に恐竜博物館を含む「長崎のもぞき恐竜パーク」、11月には MICE 施設「出島メッセ長崎」が開業します。

来年以降も、新幹線の暫定開業や、新市庁舎の開庁、長崎スタジアムシティの開業など、「次の時代の長崎の基盤づくり」が次々と「かたち」になっていきます。

コロナ禍においても、感染拡大防止と社会経済への影響の最小化、ポストコロナ社会に対応したまちへのレベルアップに努めながら、コロナに負けない、しなやかな強さとやさしさを併せ持つまちを目指します。

本年が、皆さまにとりまして、幸せに満ちた一年となりますよう心からお祈りいたします。



長崎市長

田上富久